



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年7月31日

上場会社名 株式会社マースグループホールディングス
 コード番号 6419 URL <http://www.mars-ghd.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松波 明宏
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 佐藤 敏昭

TEL 03-3352-8555

四半期報告書提出予定日 2020年8月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	3,262	38.5	169		10	98.9	3	99.5
2020年3月期第1四半期	5,304	12.9	835	22.1	1,043	18.0	703	254.8

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 59百万円 (92.7%) 2020年3月期第1四半期 809百万円 (621.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円銭
2021年3月期第1四半期	0.21	
2020年3月期第1四半期	42.11	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2021年3月期第1四半期	57,031	50,914	89.3	3,048.78
2020年3月期	58,422	51,439	88.0	3,080.23

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 50,914百万円 2020年3月期 51,439百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2020年3月期		45.00		35.00	80.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		35.00		35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響が不透明であり、現時点では合理的な算定が困難であることから引き続き未定としております。今後、業績予想が可能となった時点で速やかに公表いたします。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	22,720,000 株	2020年3月期	22,720,000 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	6,020,024 株	2020年3月期	6,020,024 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	16,699,976 株	2020年3月期1Q	16,699,977 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により企業収益は急激に減速し、極めて厳しい状況で推移しました。緊急事態宣言解除後は国内の経済活動が徐々に再開されているものの、新型コロナウイルス感染症の感染拡大は未だ収束が見えず、予断を許さない状況が続いております。また、企業の経済活動は制限されており、新常态に向けた変化と対応が求められています。

このような状況の中、当社グループはアミューズメント関連事業、自動認識システム関連事業、ホテル関連事業の各事業を通じてお客様の「満足」を勝ち取るために新たな付加価値の追求をまいりました。また、変化する市場環境に柔軟に対応するため、持株会社体制へ移行し、各事業会社の役割や責任を明確に定め、意思決定の迅速化や機動的な事業運営を強力に推し進めてまいりました。その方針に基づき、2020年4月1日には多様化する顧客ニーズに対してきめ細かいサービスを提供していくため、販売体制を見直し、株式会社マースシステムズ東日本、株式会社マースシステムズ東海、株式会社マースシステムズ西日本の3社販売体制へと移行しました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により営業活動は制限され、厳しい状況となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高32億62百万円（前年同四半期比38.5%減）、営業損失1億69百万円（前年同四半期は8億35百万円の利益）、経常利益10百万円（同98.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益3百万円（同99.5%減）となりました。

セグメントの実績は次のとおりであります。

[アミューズメント関連事業]

アミューズメント関連事業の主な販売先であるパチンコ業界は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、緊急事態宣言時には全国の殆どの店舗が営業を自粛し、宣言解除後も遊技客や従業員への感染予防対策を施しながら営業を再開する等、厳しい状況が続きました。更には、のめり込み防止対策の対応や規則改正等に対応した遊技機への入れ替え等の諸問題を抱え、パチンコホールを取り巻く環境は一層厳しいものとなりました。

このような状況の中、当社グループは、少人数でホール運営が可能なパーソナルPCシステム及び新式パーソナルPCシステム「マースユニコン」を中心にトータルシステムでの提案・販売を行ってまいりました。パーソナルPCシステムは、パチンコホールが抱える人手不足や人件費の高騰等の経営課題を改善するシステムとして広く認識され、潜在的な設備の更新需要が見込まれます。しかしながら、パチンコホールの営業活動の自粛や縮小、更には先行き不透明な状況から周辺設備の買い控え傾向は強く、新規出店や大規模な改装の案件が乏しかったことから、販売状況は厳しいものとなりました。当四半期連結累計期間におけるパーソナルの売上実績は5店舗、当四半期連結累計期間末時点における導入（実稼働）店舗数は累計1,605店舗（市場シェア20.8%）となりました。また、パーソナルを含めたプリペイドカードシステムの売上実績は5店舗、導入（実稼働）店舗数は累計1,788店舗（市場シェア23.2%）となりました。

空気の流れで紙幣を搬送する業界随一のA i r紙幣搬送システムは、累計導入件数1,000店舗が目前となりました。特にハイスpekモデルの立体A i r紙幣搬送システムは、セキュリティの強化やホール業務の省力化等の導入効果が評価され、大型案件や他社ユーザーの獲得につながっておりますが、当四半期連結累計期間における販売件数は限定的となりました。

この結果、アミューズメント関連事業の売上高は、19億78百万円（前年同四半期比42.9%減）、セグメント利益は1億28百万円（同84.4%減）となりました。

[自動認識システム関連事業]

自動認識システム関連事業における市場は、第4次産業革命（Industry 4.0）によりIoT、ビックデータ、人工知能（AI）、ロボット等が本格的に浸透し始めております。その一方で、新型コロナウイルス感染症の影響で世界的に先行きへの不透明感が高まり、設備投資計画の先送りや内容を見直しする動きも出てきております。

自動認識システムは、RFID、バーコード、X線検査装置等を媒体として各種データを精査しながら自動的に取り込み・認識ができるため、当社グループでは特にFA市場、流通市場、アミューズメント市場、健診市場を中心に提案販売活動を行ってまいりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響で営業活動が制限され、システムの打合せや商材の仕入れに遅延が生じました。また、X線検査装置も設備投資が停滞しましたが、今後期待される5G関連や、自動運転等の自動認識機器及び検査装置の提案販売を進めてまいります。

この結果、自動認識システム関連事業の売上高は、11億44百万円（前年同四半期比12.4%減）、セグメント利益は63百万円（同44.4%減）となりました。

[ホテル関連事業]

ホテル業界におきましては、2019年の訪日外国人数が最高記録を更新しましたが、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行拡大の影響で訪日外国人観光客は激減し、不要不急の外出自粛で旅行や出張も減少しており、業界の環境は急激に悪化いたしました。

このような状況の中、「マースガーデンホテル博多」及び「マースガーデンウッド御殿場」は引き続きお客様の満足度向上に向けて鋭意努力してきましたが、稼働率は大幅に低下いたしました。

関連事業のレストランは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けて、お客様や社員の安全を最優先に店内の消毒や換気、ソーシャルディスタンス、マスクの着用等の予防策を施しながら営業活動を行ってまいりましたが、売上は低迷いたしました。

この結果、ホテル関連事業の売上高は、1億39百万円(前年同四半期比73.9%減)、セグメント損失は2億68百万円(前年同四半期は35百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

当第1四半期連結会計期間末の総資産は570億31百万円となり、前連結会計年度末と比較して13億91百万円減少いたしました。

流動資産は327億13百万円となり、前連結会計年度末と比較して13億21百万円減少いたしました。その減少の主な内訳は、受取手形及び売掛金が16億16百万円減少し32億13百万円となりました。

固定資産は243億17百万円となり、前連結会計年度末と比較して70百万円減少いたしました。その減少の主な内訳は、建物及び構築物(純額)が80百万円減少し60億47百万円となりました。

流動負債は33億20百万円となり、前連結会計年度末と比較して8億47百万円減少いたしました。その減少の主な内訳は、支払手形及び買掛金が4億77百万円減少し13億17百万円、未払法人税等が3億9百万円減少し80百万円となりました。

固定負債は27億95百万円となり、前連結会計年度末と比較して18百万円減少いたしました。その減少の主な内訳は、リース債務が13百万円減少し8億8百万円となりました。

純資産は509億14百万円となり、前連結会計年度末と比較して5億25百万円減少いたしました。その減少の主な内訳は、利益剰余金が5億81百万円減少し484億28百万円となりました。

自己資本比率は89.3%となり、前連結会計年度末と比較して1.3ポイント増加いたしました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は224億5百万円となり、前連結会計年度末と比較して34百万円増加いたしました。

当第1四半期連結累計期間における「営業活動によるキャッシュ・フロー」は5億84百万円の収入(前年同四半期は8億93百万円の収入)となりました。主な要因は、売上債権の減少額16億16百万円等によるものです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は6百万円の収入(前年同四半期は2億42百万円の支出)となりました。主な要因は、敷金及び保証金の回収による収入85百万円等によるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は5億54百万円の支出(前年同四半期は5億55百万円の支出)となりました。主な要因は、配当金の支払額5億54百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、当社グループの事業活動に対する新型コロナウイルス感染症の影響が不透明であり、現時点における合理的な算定が困難であることから引き続き未定としております。今後、業績予想の発表が可能となり次第、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,371,032	22,405,160
受取手形及び売掛金	4,829,694	3,213,645
リース債権及びリース投資資産	841,811	853,970
有価証券	349,895	349,895
商品及び製品	1,923,379	1,880,383
仕掛品	221,669	189,563
原材料及び貯蔵品	1,064,800	1,333,420
その他	2,432,627	2,487,493
貸倒引当金	△389	△346
流動資産合計	34,034,520	32,713,186
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,127,971	6,047,485
土地	6,692,857	6,692,857
その他(純額)	535,908	535,985
有形固定資産合計	13,356,737	13,276,328
無形固定資産	182,589	188,703
投資その他の資産		
投資有価証券	7,958,856	8,040,513
その他	2,989,236	2,911,334
貸倒引当金	△98,973	△98,883
投資その他の資産合計	10,849,120	10,852,965
固定資産合計	24,388,447	24,317,997
資産合計	58,422,967	57,031,183
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,794,479	1,317,370
リース債務	453,534	468,062
未払法人税等	389,668	80,254
賞与引当金	422,356	218,268
その他	1,108,561	1,237,001
流動負債合計	4,168,600	3,320,956
固定負債		
リース債務	821,946	808,588
役員退職慰労引当金	168,850	173,725
退職給付に係る負債	684,088	697,517
資産除去債務	51,395	51,525
その他	1,088,268	1,064,368
固定負債合計	2,814,548	2,795,724
負債合計	6,983,149	6,116,680

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,934,100	7,934,100
資本剰余金	8,371,830	8,371,830
利益剰余金	49,009,478	48,428,471
自己株式	△12,315,383	△12,315,383
株主資本合計	53,000,025	52,419,018
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,284,155	△1,239,167
退職給付に係る調整累計額	△276,051	△265,348
その他の包括利益累計額合計	△1,560,207	△1,504,515
純資産合計	51,439,818	50,914,502
負債純資産合計	58,422,967	57,031,183

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	5,304,610	3,262,363
売上原価	2,436,466	1,642,041
売上総利益	2,868,143	1,620,322
販売費及び一般管理費	2,032,847	1,789,925
営業利益又は営業損失(△)	835,295	△169,603
営業外収益		
受取配当金	203,206	166,694
その他	14,751	18,550
営業外収益合計	217,957	185,245
営業外費用		
為替差損	9,601	4,642
営業外費用合計	9,601	4,642
経常利益	1,043,652	10,998
税金等調整前四半期純利益	1,043,652	10,998
法人税、住民税及び事業税	195,914	24,026
法人税等調整額	144,462	△16,519
法人税等合計	340,377	7,507
四半期純利益	703,274	3,491
親会社株主に帰属する四半期純利益	703,274	3,491

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	703,274	3,491
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	98,635	44,988
退職給付に係る調整額	7,428	10,702
その他の包括利益合計	106,063	55,691
四半期包括利益	809,338	59,183
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	809,338	59,183

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,043,652	10,998
減価償却費	112,069	123,426
引当金の増減額(△は減少)	△198,450	△199,346
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	5,287	13,428
受取利息及び受取配当金	△205,407	△168,569
売上債権の増減額(△は増加)	1,008,151	1,616,048
リース債権及びリース投資資産の増減額(△は増加)	△15,264	△13,022
たな卸資産の増減額(△は増加)	△231,166	△193,517
営業貸付金の増減額(△は増加)	179,635	8,076
仕入債務の増減額(△は減少)	△72,637	△477,109
リース債務の増減額(△は減少)	△1,336	1,169
その他	251,399	167,105
小計	1,875,932	888,688
利息及び配当金の受取額	204,657	167,793
法人税等の支払額	△1,187,009	△472,070
営業活動によるキャッシュ・フロー	893,580	584,412
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△86,996	△42,340
投資有価証券の取得による支出	△112,001	△6,087
敷金及び保証金の回収による収入	33,104	85,445
その他	△76,155	△30,086
投資活動によるキャッシュ・フロー	△242,048	6,931
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△130	—
配当金の支払額	△554,910	△554,807
財務活動によるキャッシュ・フロー	△555,041	△554,807
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,726	△2,409
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	92,763	34,127
現金及び現金同等物の期首残高	23,200,404	22,371,032
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,293,167	22,405,160

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アミューズ メント 関連事業	自動認識 システム 関連事業	ホテル 関連事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	3,463,076	1,307,606	533,927	5,304,610	—	5,304,610
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	132,793	36,994	1,810	171,598	△171,598	—
計	3,595,869	1,344,601	535,738	5,476,208	△171,598	5,304,610
セグメント 利益又は損失 (△)	824,555	114,837	△35,467	903,925	△68,629	835,295

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△68,629千円には、セグメント間取引消去975千円、及び各報告セグメントに配分していない全社費用等△69,604千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アミューズ メント 関連事業	自動認識 システム 関連事業	ホテル 関連事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	1,978,171	1,144,828	139,363	3,262,363	—	3,262,363
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	168,035	21,760	6,569	196,365	△196,365	—
計	2,146,206	1,166,589	145,933	3,458,728	△196,365	3,262,363
セグメント 利益又は損失 (△)	128,238	63,834	△268,501	△76,428	△93,174	△169,603

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△93,174千円には、セグメント間取引消去975千円、及び各報告セグメントに配分していない全社費用等△94,149千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。